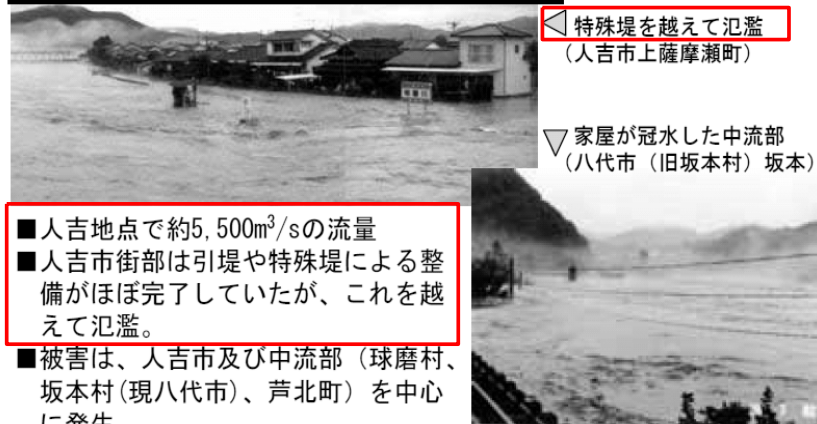


有識者会議（第1回）の補足資料

出典： 熊本県作成

1. 人吉市上薩摩瀬町に設置してある特殊堤の種類・高さについて。
 (第1回会議 説明資料2 p7右下)

昭和57年7月出水(戦後第2位の洪水)



(出典：第37回河川整備基本方針検討小委員会 資料2 p7抜粋)

計画高水位以上の高さにおいて、盛土部分の上部に、コンクリート製の胸壁(パラペット)構造にて特殊堤を設置している。(特殊堤により余裕高を確保。)
 特殊堤の高さは約1m。

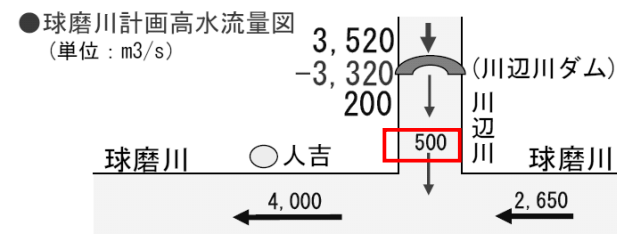


(出典：第37回河川整備基本方針検討小委員会 資料2 p6抜粋)



(出典：平成13年12月3日 九州地方整備局記者発表資料抜粋)

2. 球磨川計画高水流量図における、川辺川からの合流量500トンについて。
 (第1回会議 説明資料3 p25中央)

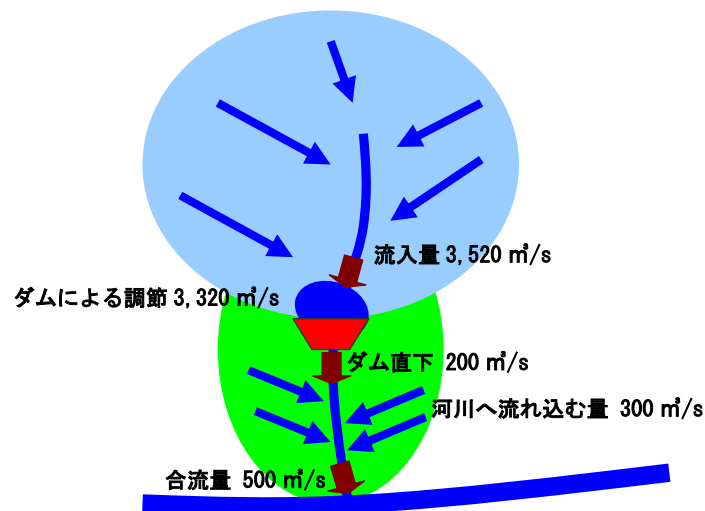


(出典：第56回球磨川水系河川整備基本方針検討小委員会 参考資料3 p25抜粋)

ダム直下における流量と、さらにダムより下流を流れる間に河道に流れ込んでくる流量を足すと、合流量となる。

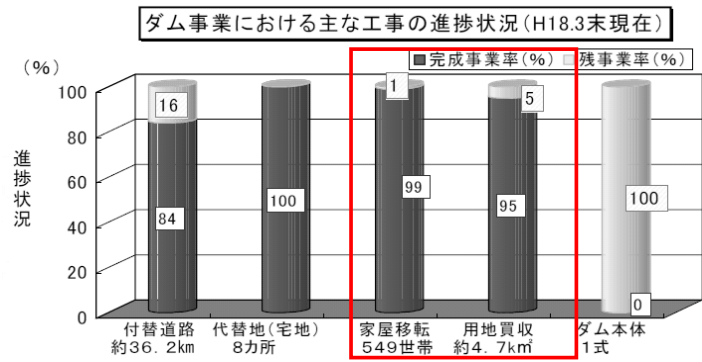
(球磨川への合流量) =
 (ダム直下の流量) + (ダムより下流を流れる間に河道へ流れ込む流量)

500トンは、人吉地点の流量が最大となる時の川辺川からの流入量(合流量)。



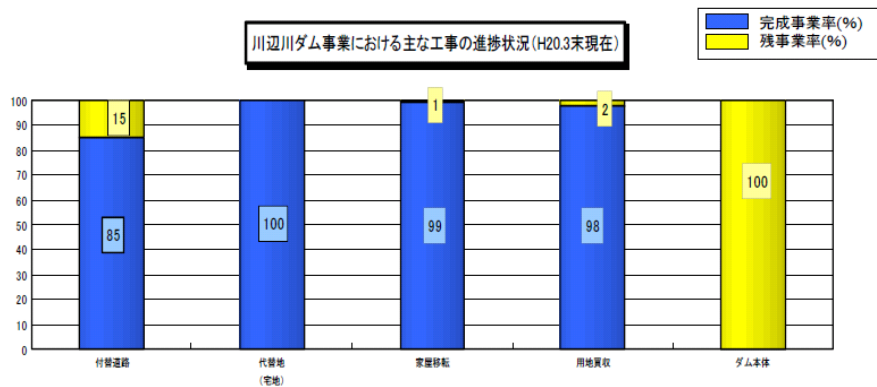
(イメージ図)

3. 事業の進捗状況について。(家屋移転の残1%、用地買収の残5%)
(第1回説明資料3 p25中下)

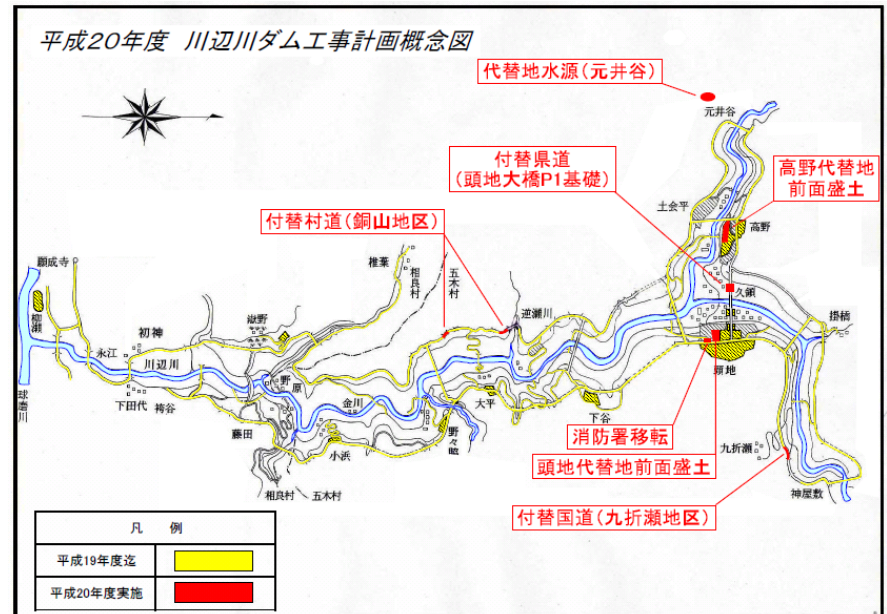


(出典：第56回球磨川水系河川整備基本方針検討小委員会 参考資料3 p25抜粋)

最新のデータでは、家屋移転の残は1%で1世帯、用地買収の残は2%で付替道路等の用地が残っている状況。



(出典：国土交通省九州地方整備局)



(出典：国土交通省九州地方整備局)